

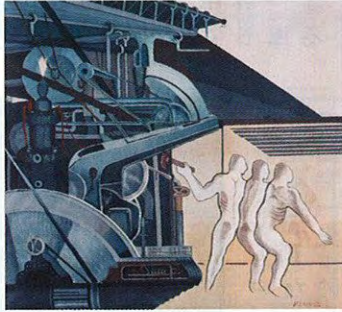


SUPPORTERS CLUB NEWS

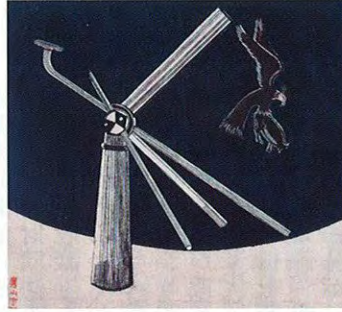
友の会 会報

TAKAYAMA-UICHI MEMORIAL MUSEUM OF ART

〒039-2501
青森県上北郡七戸町字荒熊内67-94
七戸町立鷹山宇一記念美術館内
鷹山宇一記念美術館友の会
〈TEL〉0176-62-5858 〈FAX〉0176-62-5860
〈e-mail〉takayamamuseum@ruby.plala.or.jp



【失題】 1946年 紙・木版



【機械と鳥】 年不詳 紙・木版



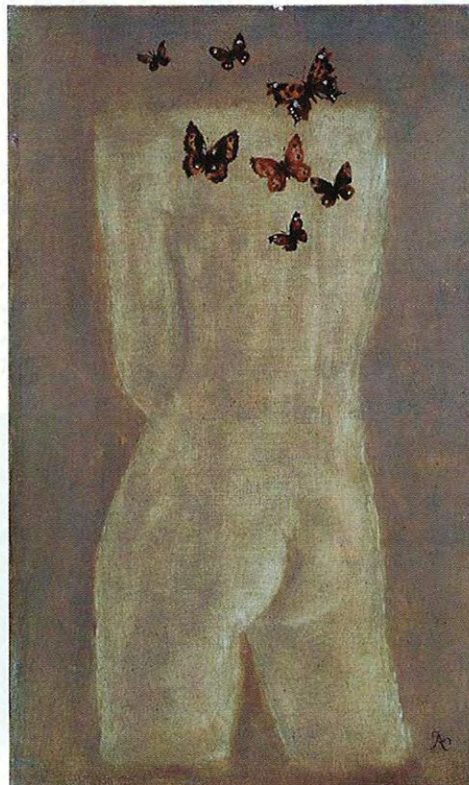
【機械と虫】 1930年 紙・木版



【顔 I-M】 年不詳 紙・木版



①⑥ともに
【遊蝶花】 1960年
紙・コデ・クレヨン・パステル・水彩



【トルン】 1954年 キャンバス・油彩



【トルゲート公女セダル・チャブ姫】
1941年 紙・水彩



【行く花】 1942年 紙・パステル

●●鷹山宇一絵画作品購入事業による新収蔵作品のご紹介●●

昨年度は鷹山宇一先生の生誕一〇〇周年を記念し、鷹山作品の充実を期するための募金活動が実行委員会を組織して行われました。お陰様をもちまして、友の会会員をはじめ多くの皆様のご協力をいただくことができました。深く感謝申し上げます。このたび、この募金と友の会からの絵画購入指定寄附とを合わせ本ページ掲載の鷹山作品12点が購入されましたので、紙面をかりてご報告と御礼にかえさせていただきます。

鷹山宇一 絵画作品 購入事業完了のお知らせ

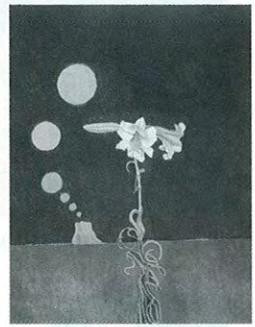
鷹山宇一先生の作品の充実をはかる為、募金活動を始めたのは平成20年3月1日からありますが、20年12月31日迄の募金期間中、多くの方々からのご厚意をいただきました。ご協力を賜りましたことができました。ご協力を賜りました皆様にあらためて深く感謝申し上げます。

- 1、募金総額 2,887,204円
- 2、友の会より支援金 1,000,000円
- 3、合計 3,887,204円
- 4、取得作品 表紙掲載の合計 12点

【内訳】

- ① 油彩 「トルソ」 1点
- ② 木版 「機械と虫」「機械と鳥」「失題」「顔I・IV」 7点
- ③ 水彩 「トルグート少女」 1点
- ④ パステル 「行く花」 1点
- ⑤ デッサン 「遊蝶花」 2点

となりました。
また、会報52号でもご報告致しましたとおり、本募金額より七戸町へ寄附致しました百万円と、町美術資料等取得基金とを合わせ、油彩作品「山のかなたに」(F30号)「夜明けの静物」(S30号)の2点が合計4百万円にて、平成20年度七戸町美術資料として購入されており、さらにこのたび、当館開館15周年を記念致しまして、鷹山宇一初期作として代表されるシュルレアリスム木版



▲【若き花】(1941年頃、紙・木版) 鷹山宇一先生がアトリエに長く大切に保管されていた作品です。

「若き花」1点を、鷹山家よりご寄贈いただくこととなりました。
鷹山宇一先生の生誕百周年、そして当美術館開館15周年を記念して、七戸町並びに当財団法人鷹山宇一記念美術振興会の新収蔵となりました作品は、合計15点となっております。

いづれも先生の画業を検証する上で貴重な作品ばかりではございますが、ここで1点私が取り上げさせていたただくならば、「トルソ」をご紹介致します。
昭和29年、旧七戸保健所で先生の個展を開催した際、私が是非欲しいと思つた最初の作品が「トルソ」でした。「みずゑ」の表紙を飾つたこの作品は、個展終了後長くM氏のご所蔵となつておりましたが、今回55年の歳月を経て、当美術館に収まることとなりました。
文字どおり、広く多くの方々のご厚意によつて支えられる美術館となりました。嬉しい限りです。是非皆様の真摯なご鑑賞を願つてやみません。

平成21年12月10日

七戸町立鷹山宇一記念美術館
館長 戸館昭吉

新収蔵作品ただ今展示中!
新年1月24日(日)迄。是非鑑賞ください

平成21年度友の会第3回研修旅行記 新発見! エジプト展

ミイラという不思議な魅力を持つ言葉を知ったのは、中学生のころに見た「恐怖のミイラ」というテレビ番組だった。ドラマのストーリーは覚えていないが「怖かった」という思い出はいまも心の片隅に残っている。提供スポンサーは、松下仁丹一社、連続テレビ番組としては、日本で初めてのホラー作品だったそう。子供向けの月刊誌や週刊誌でエジプトの王家の谷で発見されたツタンカーメン王の墓のことや王墓発掘に伴う有名な「ファラオの呪い」のことなどを知つたのもこの頃だったように思う。

今回、はからずも青森県立美術館で開催中のエジプト展を鑑賞することになったがミイラは怖いものという思いはいまでも私のなかにある。
私が興味を持ったのは、葬祭神官の称号を持つ夫「セベクハト」と妻「セネクトエス」と言う名の夫婦のミイラだった。埋葬された二個の木棺が発見されたのは深さ3.6メートルのシャフトの南北に分かれたそれぞれの部屋からだったという。夫婦ならば同じ部屋に埋葬されるだろうと勝手に想像していた私はそのことを少し残念に思った。二個の木棺の位置を示している模型を見ながら亡くなったのはどちらが先でどちらが後だったのだろうか、東西ではなく南北に分かれた部屋に埋葬されたのは何か意味があるのだろうか、などと何気なく思った。
エジプトでは紀元前2600年頃から死者の供養のためにミイラ作りが行われミイラ職人は遺族の依頼を受けてミイラをつくっていたそうだが、報酬によつて作り方に差があり、ランクが高いほど保存状態が良かったというところを知り、前述した恐怖のミイラは報酬も高く最高水準の技術をもつた職人によつて作られたミイラだったのだろうと想像している。
吉村隊の発掘史上初という親子ミイラもレプリカではあったが興味深かった。オシリス神の像、アヌビス神小座像、ネフティス女神小像、など一つ一つが個性的でそれぞれの物語を持つ古代エジプトの数々の像に圧倒された一日だった。嘆き悲しむ女性の像が印象に残った。
(T・T)



青森県立美術館にて H21.10.25

鷹山宇一記念美術館 News & Report

2009年12月15日発行

鷹山宇一 生誕記念日☆☆☆☆

☆☆☆☆ 「遊蝶記」から

鷹山宇一先生が逝去されたのは1999年のことでした。その翌年から始まった「遊蝶記」も今年10回を数えます。先生を偲ぶ日・生誕記念日12月10日の日ををご紹介します。



▲鷹山先生が長く所属した二科会、今年もその青森支部よりバラのアレンジメントをいただきました。

「遊蝶記」が行われるこの季節、12月は誰もが新年を前に身も心も引き締まる思いで過ごされているのではないのでしょうか。1年を振り返り、反省することも多々あるでしょう、それを顧みて新たに立志することも必要なのだと思います。当鷹山宇一記念美術館にとって「遊蝶記」とは、鷹山宇一先生を偲ぶ日、に止まらず参加された方々、スタッフも含めて、まさにそのような意味合いが大きいように思われます。101歳のお誕生日をお祝いするとともに、このような機会を与えてくださった鷹山宇一先生にあらためて感謝をしたい、そのような思いで、今年の第10回目の「遊蝶記」を過ごしました。

※遊蝶記当日は終日無料開館したほか、正午12時から友の会会員の皆様をはじめ当館関係者にお集まりいただき「遊蝶記の集い」を開催、ハッピーバースデーの歌を皆で歌い、宇一先生101回目のお誕生日を祝いました。



▲この日は鷹山先生の長女・鷹山ひばり青森県立美術館長、そして奥様の鷹山増子名誉館長もご出席くださいました。



●美術館取 蔵資料から 「鷹山宇一」 を知るっ!!●

鷹山宇一先生への理解を深め、一層親しんでいただけたなら、との願いを込めて…

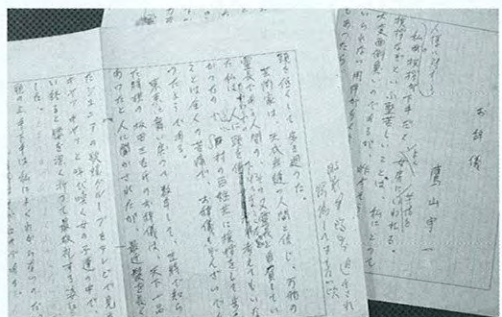
展示されている作品のみならず、美術館にはまだまだご紹介できていない眠っている (>_<) 資料があります。

ここでは、そんな資料から、所収先は不明なのですが、鷹山先生直筆の原稿をご紹介します。

普段着のままの鷹山宇一先生が目につくような原稿です♥

お辞儀

鷹山宇一



人様に対する私の挨拶が下手だと、よく女房に苦情をいわれる。挨拶などといふ堅苦しいことは、私にとって大変面倒臭いのであるが、昨今それもいつていられない用件が多くなり、挨拶の指導所でもあったら、出かけて教わりたいものだと考える時がある。

戦後間もない頃、F村の有力者といわれる人の肝入りで、個展を開いたことがあった。未だ戦後の混乱期でもあったせい、その人はどの程度の有力者か知らなかったが、寒々とした個展の会場で、一人ポツネンと炭火を抱きこんでいた私の作品は、一向に赤札がつかなかった。所用のため旅行中であつたその有力者は、個展の不首尾に驚いて私を連れ出し、雪のぬかり道を、F村の素封家の間を頭を低くして歩き廻つた。又霊長と自負していた私は見ず知らずの人に頭を下げて歩くなど考えてもいかなかった。お辞儀もぞんざいであつたようである。

東京に舞い戻つて数年して、王将で知られた将棋の坂田三吉氏のお辞儀は、天下一品であつたと人に聞かされたが、最近テレビで見た髪を長くしたジュニアの歌謡グループの、キャツキャツと叫び喚く女の子達の中で歌い終ると、腰を深く折つて最敬礼する姿には一驚した。歌の上手下手は私にはよくわからないのだが、その丁寧なお辞儀はオドロキである。

F村での個展の当時、私もこれらの人々のようにお辞儀が上手であつたなら、あるいは作品全部に赤札がついたかも知れないと、今更ながら臍を噛むのである。

子どもたちの絵画展

第9回鷹山賞児童作品展 第9回地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展

2010年
1月2日(日)まで
好評開催中!

青森県南部地方の小中学生に作品を公募する絵画コンテスト「鷹山賞児童作品展」も、第9回展となりました。今年49団体から814点もの力作が寄せられました。10月2日には、毎年京都からお出掛けいただいている二科会会員・濱田進審査員長を筆頭に審査会が行われ、鷹山賞を頂点とする入賞30点、入選93点が選ばれています。その栄えある入賞者を讃え、11月14日、授賞式が行われました。たくさんのお来賓、新聞・テレビといった取材陣に囲まれ、やや緊張した面持ちの子どもたちでしたが、自分の名前が呼ばれると元気がいっぱい返事をして、晴れやかに、賞状と副賞を受け取っていました。

入賞・入選となった全作品は、新年1月24日まで展覧しています。この期間中は、子どもたちによる、子どもたちのための絵画展をモットーに美術館は開館します！もちろん、毎年大好評の「地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展」その第9回展も併催しています。

子どもたちの絵画展で、心はほんわか、温かな気持ちで新年を迎えませんか？その豊かな色彩と純粋な感性：私たち大人にも元気をくれる、そんな作品ばかりです！冬休みを「活用」いただき、是非ご家族皆様で「鑑賞」ください！

▼第9回鷹山賞児童作品展【鷹山賞】受賞作品

㊦小学生の部

「すごい力だ」(水彩・クレヨン)

山田勇仁くん(八戸市立白銀南小学校2年生)

㊦中学生の部

「コラグラフ」(コラグラフ)

須藤貴俊くん(三沢市立第五中学校3年生)



▼併催の「第9回地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展」から【地球環境特別賞】受賞作品。「人と自然の共存」をテーマに世界各国の子どもたちへ募集をした今回、58か国から20,224点もの応募がありました。本展では優秀作品に選ばれた70点を紹介します。



▲10月2日に行われた審査会から。左から、七戸町議会議長・田中正樹様、七戸町長・小又勉様、審査員長で二科会会員の濱田進先生、戸館昭吉美術館長、七戸町教育長・倉本貢様。

▼来賓の七戸町長・小又勉様
㊦、青森県立美術館長・鷹山ひびり様㊦よりご祝辞を頂戴しました。また、授賞式に引き続き、会場をロビーに移して行われたレセプションパーティーでは、七戸町議会議長・田中正樹様より乾杯のご発声をいただき、入賞の子どもたちをお祝いしました。



▲最高賞の鷹山賞(小学生の部)を受賞した山田勇仁くんへ当財団理事長・青山浄晃より賞状と副賞が授与されました。



▲上㊦は鷹山賞副賞。このほか町長賞、教育長賞、奨励賞、議長賞、審査員特別賞の副賞は、鷹山宇一先生のお孫さんが彫金作家の片山雄介先生が制作しています。今回はじめて片山先生㊦が授賞式にご出席くださいました。副賞を受け取った子どもたちにとって、作り手である先生に出会える機会は大変貴重な体験です。きっとステキな思い出になったことでしょう。

●●●●●●●●
**美術館の
 ワークショップ**
 から
 ●●●●●●●●
**ウッド カッターズ クラブ
 WOOD CUTTERS CLUB**
 -木こりの工房-
 美術館あ〜と!くらぶ

「WOOD CUTTERS CLUB
 木こりの工房」

こちらの教室からは、10月11日に行っ
 た「ビーズアクセサリー／シルバーク
 セザリ〜づくり」の様子をご紹介しま
 す。「ビーズ」と「シルバー」の講師には、鷹
 山宇一画伯のお孫さんにあたられる廣
 田有布氏と片山雄介氏(どちらも東京
 都在住を招聘して開催しました。



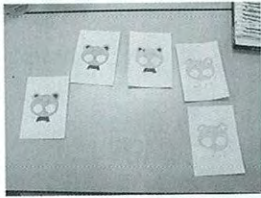
午前中はビーズ。
 10月ということもあ
 り、ハロウィンのチャ
 ームづくり挑戦し
 ました。細かい作業
 に子どもたちは悪
 戦苦闘!!ひと作業終えることにはあ
 ると大きなため息がもれます。その分
 完成した喜びも大きく、早速バッグにつ
 ける児童も。
 午後のシルバ
 ーは、いびしを活
 かした黒い銀細
 工に挑戦。磨いた

後、油性ペンで銀
 に絵を描き、いび
 してからペンをふきとりま
 す。すると、
 絵の部分がピカピカにー銀に絵を描く
 感触や自分の絵が銀細工に仕上がるこ
 とに感動を覚えた瞬間でした。



「美術館あ〜と!くらぶ」

あ〜と!くらぶ
 からは、11月28日、
 12月5日に行った、年
 賀状版画(づくり)の様
 子をご紹介します。
 毎年恒例となった
 年賀状版画(づくり)。
 2010年は寅年で
 す。黒を含めて3、
 4色、使う色の分だけ版を制作しま
 す。自宅でも作業ができるよう、刷りには
 水彩絵具を使用しました。粘り気を出
 すために、大和のりを
 少し混ぜ、シチューの
 ようなところみ加減を
 つくります。乾かない
 ようにテキパキと絵
 具を版にのせ、パレ
 ンは手のひら全体で
 持ち、体重をかけて



すために、大和のりを
 少し混ぜ、シチューの
 ようなところみ加減を
 つくります。乾かない
 ようにテキパキと絵
 具を版にのせ、パレ
 ンは手のひら全体で
 持ち、体重をかけて



丁寧に刷ります。心のこもった手作りの
 年賀状、みなさんも挑戦してみたいか
 が、藤谷先生、半年間、丁寧
 なご指導ありがとうございました。



1 美術館ワークショップ「作品展」
 「WOOD CUTTERS CLUB」美術館あ〜と!
 くらぶに参加してくれた皆さんの作品を、鷹山賞児
 童作品展開催期間中ご紹介しています。是非一度
 ご鑑賞ください()v「モノづくり」にご興味がおあり
 の方は美術館までお気軽にお問い合わせください!

24 まで開催中!



美スタッフのひとりごと

2009年も残すところあとわずか。新年を迎える
 喜びに心が躍ったのは何歳までだったでしょう。
 近頃は今年が何年か? 自分が何歳なのか?
 ワカラナイことが多く、「ボケるの、はつえ!」と言わ
 れながら老化現象と対峙しております。このまま
 行くと30年後にはどうなっているのでしょうか? 一
 人息子を案じつつ、『檀山節孝』の老母おりんのよう
 に、檀山丸、りへ行く覚悟で日々老いけいモノと願っ
 ております()

90才の長寿を絵を描くことに生きた鷹山宇一
 先生は、毎日規則正しい生活をし、仕事部屋の整
 理整頓も最期まで自分で行ってたといひます。
 アトリエには先生の日常がそのままに遺されて
 いるのですが、「画家・鷹山宇一」というよりは、一
 人の「人間・鷹山宇一」の生き様が凝縮されてい
 て、その距離がグッと縮まり親しみが沸きます。
 例えば、天国へ旅立たれた1999年10月のカレン
 ダー! そこには先生独自のセレモニーが記憶され
 ていて... ①片面刷りのウラが「白」のチラシを日に
 ちの数字の大きさにあわせ四角形に切っておきま
 す。②それを寝る前にカレンダーの今日の日付
 に糊で貼ります。以上。

なんて分かりやすいっ カレンダーなのでしょう!!
 ()v 朝起きて今日が何日か? 一目瞭然ですね!
 過ぎた日に「X」をつけるより断然美しいし、優し
 いな、と思いました。チラシを切ったり糊で貼
 ったり、手のかかる単純作業ではあるけれど、これ
 がまた「無意識」を生む心地良い時間だったりす
 るんですよ! そして、何を思いながら今日の日に
 紙を貼り付けていたのでしょうか。日常のささやかな
 コマではありますが、きっと大切な「時間」だったの
 ではないか...と、想像するのです。 [A.O.]

● 美術館日誌 ●

【6月】

- ▼1日/平川市尾上遺族会13名様ご来館
- ▼2日/戸館館長東京出張第94回二科展鑑賞事務局へご挨拶等(3日迄)
- ▼3日/イーゼル会13名様、青森県立青森第一養護高等養護学校生徒教員23名様ご来館
- ▼6日/北銀ひまわり会経友会15名様ご来館。「無言館展」最終日(会期中の入館者9、150名)
- ▼7日/町内老健施設利用者無料招待日。展示替えのため休館(11日迄)。無言館館主窪島誠一郎様、スタッフ作品搬出のため来館
- ▼16日/八戸広報連絡会13名様ご来館。戸館館長・坪、青森市出張(新公益法人制度説明会出席)
- ▼17日/当財団第4回理事会開催
- ▼18日/みどり保育園23名様ご来館
- ▼19日/美術館あつと！くらぶ「スチレンカラー版画づくり」開催。「駅からハイキング」ツアー参加者33名様ご来館
- ▼20日/くさりの会12名様ご来館
- ▼25日/つがる市文化団体協議会21名様ご来館
- ▼26日/七彩会油絵教室
- ▼27日/WOOD CUTTERS CLUB「フリースタイル作り」開催
- ▼28日/戸館館長青森市出張(29日迄)。「無言館展」御礼のため、東奥日報社、青森放送株式会社

【7月】

- ▼1日/自動ドア定期点検(ナブコ)
- ▼2日/平成21年度青森県高等学校教育研究会総合学科部会研究大会記念講演会を当館2階工房において開催。鷹山ひばり県立美術館長が講演、聴講の61名様館内を鑑覧。鷹山賞児童作品展審査会開催、審査員長・濱田進先生ご来館
- ▼3日/美術館あつと！くらぶ「スチレンカラー版画づくり」開催
- ▼4日/友の会会報56号発送作業
- ▼7日/七戸町まちづくりの会第2回理事会へ佐伯出席
- ▼8日/町立七戸小学校6年生児童・教員57名様ご来館。社会科校外学習「史跡巡り」の一環で絵馬館を中心に見学
- ▼10日/七彩会油絵教室開催。11日、12日のワークショップ講師・片山雄介氏、廣田有布氏来館
- ▼11日/WOOD CUTTERS CLUB「シルバークセサリー作り」「ピースアクセサリー作り」開催。北斗高校尾上総合高校分室生徒教員67名様ご来館
- ▼12日/大人のためのワークショップ「シルバークセサリー作り」「ピースアクセサリー作り」開催
- ▼14日/展示替えのため休館(16日迄)。町商工観光課主催「アドバイザー派遣事業」を当館2階工房において開催
- ▼15日/東北新幹線「七戸十和田駅」開業1年前記念イベント打合せに佐伯出席
- ▼17日/第69回国際写真サロン展初日(11月8日迄)
- ▼18日/まるいち観光26名様ご来館

- ▼23日/みちのく銀行大鰐支店レディスクラブ30名様ご来館
- ▼24日/七彩会油絵教室
- ▼25日/WOOD CUTTERS CLUB「フリースタイル作り」開催
- ▼29日/七戸町産業文化健康まつり会場準備手伝い(9時〜佐伯・坪)。税理士事務所打合せ。冷暖房切替点検(オキタ工業)
- ▼30日/北奥羽開発促進協議会二戸支部14名様ご来館。七戸町産業文化健康まつり出品「当館ワークショップ参加者制作作品」展示作業(佐伯・大池青森市出張(鷹山賞副賞引取))
- ▼31日/東北町連合PTA母親委員13名様、銀細工を体験講師(佐伯)館内を鑑覧

【8月】

- ▼1日/七戸モニターツアー参加者37名様ご来館。産業文化健康まつり出品ワークショップ作品搬出作業(佐伯)
- ▼5日/NPO法人推進会議徳差様ご来館。しちのへ春まつり打合せ(大池)
- ▼7日/七彩会油絵教室
- ▼8日/国際写真サロン展最終日(会期中の入館者421名)
- ▼9日/地デジチューナー取付工事
- ▼10日/展示替えのため休館(14日迄)。写真サロン展作品搬出作業(協力/フォトしちのへ)。美術館回廊遮光カーテン取り付け作業(石源)。美術館電気定期点検(佐藤電気)
- ▼12日/事務室コンセント増設工事(石田電気)
- ▼14日/第9回鷹山賞児童作品展入賞者授賞式記念パーティー開催



12月~2月
までの
休館日
のごあんない

●定休日●
毎週月曜日

祝日の場合は閉館し翌日休館

●年末年始●
12/30(水)~1/2(土)

●館内整備休館●
1/25(月)~2/5(金)



- ▼15日/第9回鷹山賞児童作品展第9回地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展初日(新年1月24日迄)
- ▼18日/七戸町まちづくりの会主催「シルバークセサリー作り」を当館2階工房において開催(講師・佐伯)
- ▼19日/県立七戸養護学校生徒・教員10名様ご来館
- ▼20日/戸館館長、佐伯十和田市出張(あつと！くらぶ版画講座講師・藤谷芳雄氏グループ展「アートサークル展」鑑賞、戸館館長、青森DC上北地域連絡協議会)出席
- ▼22日/WOOD CUTTERS CLUB「七宝焼き」開催。文化芸術による創造のまちあおもりプロジェクト「アイトコミュニケーション」養成プログラムに参加の9名様ご来館
- ▼24日/しちのへ春まつり打合せ(大池)
- ▼25日/町立城南小学校3年生児童・教員46名様、2年生児童・教員41名様、野辺地町立若葉小学校4年生児童・引率49名様ご来館
- ▼26日/七戸町ICTシステム設置説明のため町企画財政課担当者来館
- ▼28日/美術館あつと！くらぶ「年賀状版画づくり」開催。キッチン水道蛇口交換工事(石田電気)

わたしの おすすすめ 美術館

東北・山形に

フランス二十世紀絵画の宝庫

山形美術館

霞城公園のお堀を隔てた隣が山形美術館である。

誰もが県立とみまがう六、四百㎡の堂々たる施設であって、多層民家風の三階建。一九五八年のオープンである。

展示は、服部氏と吉野石膏コレクションが中心である。ルオーの「告発されたピエロ」、ピカソの「青い背景の婦人像」、シャガールの「花



▲山形美術館 (HPより転載)

束を持つ少女」、ルノアールの「花帽子の女」、ユトリロの「モンマルトルのミュージーラー通り」。現代作家では、アイズピリ、ブラジリエ、ビュッフェ、カシニョール、ギヤマン、荻須高徳と日本において多くのファンを持つ具象作家の作品を鑑賞できる。

この美術館の根幹をなすものが、両コレクションであるが、服部敬雄氏の存在の大なるは申すまでもなく、吉野石膏の須藤永次氏、恒雄氏から永一郎現社長へと三代にわたる当美術館への支援は倉敷の大原美術館にも相応するもので、服部氏と須藤氏に代表される民間の先人による高い貢献度には正に脱帽であります。東北では稀有なことである。

美術館は山形市の中心部にあり、山形駅から徒歩十五分。近くには旧県庁である石造の堂々たる風格の記念館があり、整備中の霞城公園とともに、市内観光の拠点となっている。いつの日か、山形美術館のルノアールに鷹山宇一記念美術館でお会いしたいものです。

鷹山宇一記念美術館

館長 戸館 昭吉

山形美術館へは・・・

- JR山形駅前から 徒歩15分。バスあり
- 開館時間 10:00～17:00
- 休館日：毎週月曜日 年末年始、展示替えのため臨時休館あり
- 入館料：一般500円 ☆特別展は別途観覧料を設定
- TEL 023-622-3090

友の会会員登録の更新と 新規会員入会お誘いのお願

本年も会員の皆様には、友の会運営に多大なご理解とご協力をいただき、誠に有り難う御座いました。新年度も鷹山宇一記念美術館の応援と会員の皆様に喜んでいただけたよう研修旅行、講演会などを企画し、微力ながら地域文化の発展に寄与していく所存でございます。本号に年度更新の振替用紙を同封致しましたので、各位のご協力をお願い致します。

○友の会の事業内容

- ① 県内外美術館研修視察旅行(年2～3回)
- ② 海外美術館研修旅行(第5回海外研修旅行 2011年4月 オランダ・ベルギー美術紀行)
- ③ 美術館作品購入基金への協力
- ④ 鷹山宇一記念美術館ボランティア協力
- ⑤ 会報の発行
- ⑥ その他(美術講演会の開催等)

○一般会員

年会費 3千円
特典 ① 無料入館券3枚。会員証提示により入館料2割引

○特別会員

(個人・法人) 年会費 1万円
特典 ① 会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者1名まで無料入館
② 新規加入の方に画集1冊贈呈
③ 研修会、講演会への招待、優待
④ 他美術館等の視察研修への優待参加
⑤ 会報の配布

○賛助会員

(個人・法人) 年会費 2万円
特典 ① 会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者3名まで無料入館
② 新規加入の方に画集1冊贈呈

◇詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

会費納入に就いてのお知らせ

会費の納入は随時受け付けております。平成21年10月1日～22年3月31日の間に新規会員となった方は、23年3月31日までの会費となります。

投稿をお待ち
しています!!

友の会皆様の会報です。お便り・旅行記、楽しかったことなどを気楽にお寄せ下さるようお願い致します。

ご意見・ご要望
をお寄せ下さい

☆友の会事業全般について
☆研修旅行について
☆ご希望とご意見
☆その他
会員の皆様からのご要望をお待ちしております。

好評募集中！ 第5回友の会海外研修旅行
『ゴッホ・フェルメール・レンブラントを訪ねて』
 2011年4月オランダ・ベルギー美術紀行9日間



第5回友の会海外研修旅行、12月15日現在で20名の会員から参加申し込みを頂いております。

第1回の旅行説明会を平成22年1月16日(土)に美術館で開催致します。参加検討中の方もご出席下さい。

この度の海外研修は「ゴッホ・フェルメール・レンブラントを訪ねて」と題して巨匠の名画を堪能する「美術紀行」です。ベルギーやパリも訪問します。

旅行日程は、平成23年4月10日から4月18日までの

9日間です。詳細は9月送付のパンフレットをご覧ください。皆様のご参加をお待ちしております。

●第1回旅行説明会 平成22年1月16日(土)
 13:00 美術館2F工房

●募集締切：平成22年3月31日(水)

募集人員 35名(最少催行人員20名)

ご旅行代金 350,000円

(燃油サーチャージは含みません)

☆☆献の養編
 したの振の興の
 たいの興の向の
 2本発上を
 0年度展を
 10年にお寄を
 会員お半と
 様おける年
 のご会を
 健康協を
 とご協に
 多力に
 幸深
 を心から感謝申し上げます。(照井)

●3日目からクレラ=ミユラー美術館、国立博物館、ゴッホ美術館、マウリッツハイス美術館などを鑑賞。

●ベルギーでは美術館のほか世界遺産を巡り鑑賞します。



日 程 表

- 1日目** 平成23年4月10日(日)
 午後新幹線にて出発→東京駅→成田へ [ホテル前泊]
- 2日目** 4月11日(月)
 成田空港13:30(JAL)直行便→17:35アムステルダム着
 専用バスにてホテルへ [アムステルダム泊]
- 3日目** 4月12日(火)
 国立クレラ・ミユラー美術館、国立博物館、国立ゴッホ美術館、レンブラントの家など [アムステルダム泊]
- 4日目** 4月13日(水)
 花のテーマパーク「キーヘンホフ公園」見学。シーボルトハウス、マウリッツハイス王立美術館見学 [ハーグ泊]
- 5日目** 4月14日(木)
 フェルメールの故郷デルフトで陶器工場見学。キンテルダイクの風車群(世界遺産)を見学。アントワープ王立美術館 [アントワープ泊]
- 6日目** 4月15日(金)
 ノートルダム大聖堂(世界遺産)、マルクト広場散策後、ゲントの聖バーフ大聖堂へ。ブルージュへ [ブルージュ泊]
- 7日目** 4月16日(土)
 ブルージュ ムムリフク美術館、マルクト広場、石畳の街並み見学後、ブリュッセルへ。王立博物館、小便小僧、グランプラス(世界遺産)など見学後、タリス(高速鉄道)にてパリへ移動。 [パリ泊]
- 8日目** 4月17日(日)
 タ方までフリータイム。ホテルからルーブル・オルセー・オランジュリー美術館は徒歩圏内。
 19:00(JAL)成田直行便にてパリ出発。 [機中泊]
- 9日目** 4月18日(月)
 14:00成田空港着→18:00頃東京駅→新幹線で県内新幹線駅へ。めでたく解散!

●新幹線、青森、十和田・七戸、八戸各駅から成田へ。翌日ゆつたりと出発。直行便でアムステルダムへ

